

科目名	中小企業成長戦略 SME Growth Strategy		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・木・4 限	春・木・5 限	-	-
担当教員名	上村 孝樹	e-mail		
<p><講義の概要と目的></p> <p>21 世紀市場で、中小企業（SME）やスタートアップ企業が、市場や顧客を獲得しビジネスを継続していくための戦略や経営革新のための要件を講義・事例解説・ディスカッション・レポート作成によって学ぶ</p> <p><到達目標></p> <p>「21 世紀市場の特質と勝ち残り戦略」「社会・経済環境の変化と対応戦略」「21 世紀市場で活用する経営戦略」「21 世紀市場で勝ち残る IT 経営」「ICT イノベーションの影響と対応策」を活用できるレベルで理解する</p> <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>15 回の授業の内、3 分の 1 の 5 回をディスカッションに割り当て（第 3 回、第 6 回、11 回、13 回、15 回の授業を予定）、ディスカッション後にミニレポートを提出する</p> <p><講義計画>授業の進展度合いによって若干の変更があります。</p> <p>1 回目： <21 世紀市場の特質と攻略方法 (1)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：20 世紀市場と 21 世紀市場の違いを明確に理解し、付加価値向上で勝ち残る戦略を学ぶ <p>2 回目： <21 世紀市場の特質と攻略方法 (2)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：311 震災後の社会・市場の変化と主要なキーワードと対応策を学ぶ <p>3 回目： <21 世紀市場の特質と攻略方法 (3)>ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：「社会情勢の変化への対策」の主要なキーワードを選び対応策を議論する <p>4 回目： <基本経営戦略 (1)>21 世紀市場の特質と勝ち抜くための基本経営戦略 1～11 を解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：ランチェスターの法則、三河屋商法、百匹目の猿現象、ピーター・ドラッカーの法則、会社経営・3 代の法則、マーフィーの法則、成功哲学、引き寄せの法則、ハインリッヒの法則、ムーアの法則、メトカーフの法則を学ぶ <p>5 回目： <基本経営戦略 (2)> 21 世紀市場の特質と勝ち抜くための基本経営戦略 11～22 を解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：ブルー・オーシャン戦略、競争優位の戦略、SIS、BPR、アジル（俊敏）経営、戦わない戦略（ポジショニング）、経営情報化の戦略、メラビアン法則、パレートの法則、パレート分析（ABC 分析）、ロングテールを学ぶ <p>6 回目： <基本経営戦略 (3)>ディスカッション「基本経営戦略の活用策を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：22 の基本経営戦略の中から、いくつかを選び現在の市場の中での活用方法を議論する <p>7 回目： <ICT イノベーション事例研究 (1)>人工知能（AI）がもたらすビジネスの変革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：AI がもたらす各方面への破壊的なインパクトと対応策を考える <p>8 回目： <ICT イノベーション事例研究 (2)>IoT がもたらすビジネスの変革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：モバイル 5G 時代の到来によって IoT のインパクトがどのように増すか、対応策を考える <p>9 回目： <ICT イノベーション事例研究 (3)>3D プリンタがもたらすモノづくりへのインパクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：モノづくりの在り方を大変革させる 3D プリンタの革新と対応策を考える <p>10 回目： <ICT イノベーション事例研究 (4)>農業分野、漁業分野などの変革が食糧問題を解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：食糧危機が増す中で植物工場、魚の養殖などで大変革が起きていることへの対応策を考える 				

11 回目：＜ICT イノベーション事例研究 (5)＞ディスカッション

・要点：ICT イノベーションがビジネス全般への変革をもたらすことへのチャンスと脅威を議論する

12 回目：＜ブランディング戦略 (1)＞「中小企業が 21 世紀市場でブランド力を向上させる戦略」

・要点：ブランド戦略がもたらす 5 大効果を解説し、ブランド戦略を創り出す視点を考える

13 回目：＜ブランディング戦略 (2)＞ディスカッション：具体的な企業のブランド力を考える

・要点：ブランド力分析シートを用いて具体的な企業の課題と良いところを抽出・発表する

14 回目：＜情報発信力分析 (1)＞企業の BtoB 向けのホームページを分析する

・要点：分析シートを用いてビジネス戦略との適合性を分析する

15 回目：＜情報発信力分析 (2)＞ディスカッション

・要点：具体的に BtoB 企業を選び、ビジネス戦略の視点でホームページを分析して良いところや課題を抽出・発表する

＜講義の進め方＞

講義、ワークショップ（分析演習やディスカッション）を組み合わせで行います。ディスカッションには、3 分の 1 の時間を割く。

＜事前事後学習内容＞

15 回の授業で使用するテキストを事前に SNS にアップしておき、事前学習・事後学習のポイントを授業で指示します。

＜予習・復習時間＞

各回の予習・復習にはそれぞれ 2 時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示します。

＜教科書及び教材＞

講義テキスト、演習・分析シートなど授業で使う資料を作成して配付する。

＜参考書＞

IT 経営の成功事例研究書として「IT 経営百選データブック 2」（上村孝樹編著）。
大学院の図書室にあります。

＜成績評価方法＞

欠席 6 回以上は成績評価しない。評価配分は、「期末レポート」が 50%、5 回のディスカッション授業後のミニレポート提出（締め切りは 1 週間）を合計で 50%の配分とする。

＜課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法＞

期末試験に関してのフィードバックは SNS にアップする。

＜履修条件＞

ディスカッションで積極的に発言する人。試験レポートとディスカッション授業後のミニレポート（5 回）を Word ファイルで作成、上村にメール送信できる人。

＜DVD による視聴＞ 可

＜オフィスアワー＞

非常勤講師のため、事前連絡してアポイントを取ること。

＜その他＞

授業で使用するテキスト資料は SNS にアップするので、予習・復習を十分行ってください。具体的な事例としてテキスト内に URL を表示している場合は、Web にアクセスして情報を収集して理解を深めてください。